

学会報告

2010年8月7日

医療法人社団和邇会 三井メディカルクリニック

当院院長(三井石根)が、世界で初めての老眼専門学会『Presbymania 2010』から招待を受け、老眼におけるオサート/オルソケラトロジーとクロスリンキングに関する発表を行いました。



学会長 Dr. Jerome と

日時：2010年8月7日

場所：Geneva, Switzerland

(ジュネーブ スイス)

学会：

Second World

Presbymania Conference

(第2回世界老眼学会)



『院長発表内容：演題』

「Presbyopia Orthokeratology and Crosslinking」

(老眼治療用オルソケラトロジーとクロスリンキング)

『学会の概要』

Presbymania の国際学会は、2009年に第1回会議が開催され、以降毎年ジュネーブで老眼に対する新しい試みを行っているスペシャリストを世界中から招き、その様子がインターネットTVを介して世界同時配信される会議です。本年(2010年)は8月7日ジュネーブで開催されました。

『発表の内容』

今回の学会には、学会事務局から日本人として唯一当院院長が老眼治療の専門家として招待され、オサートでの遠視・近視治療を応用した老眼治療の発表を行いました。また、オサート/オルソ-Kとクロスリンキングを組み合わせた新治療法を世界で初めて発表し、オサート/オルソ-Kの今後の発展的可能性を示しました。欧米では軽度の近視にしか行われていないオルソケラトロジーなので、オルソケラトロジーを遠視・老眼治療にまで広げた独自の治療法は、非常に高い関心を持って評価され、更にクロスリンキングを併用した斬新な試みは、会場に招かれた25名の世界的権威から好評を博しました。また、会場内からはもちろん、インターネットを通じてブラジル・アイルランド・香港・アメリカなどからも質問が寄せられ、それに対する三井院長の回答に、オサート/クロスリンキングに対する大きな期待が伝えられてきました。



レマン湖 船上レセプションにてアワード授与

